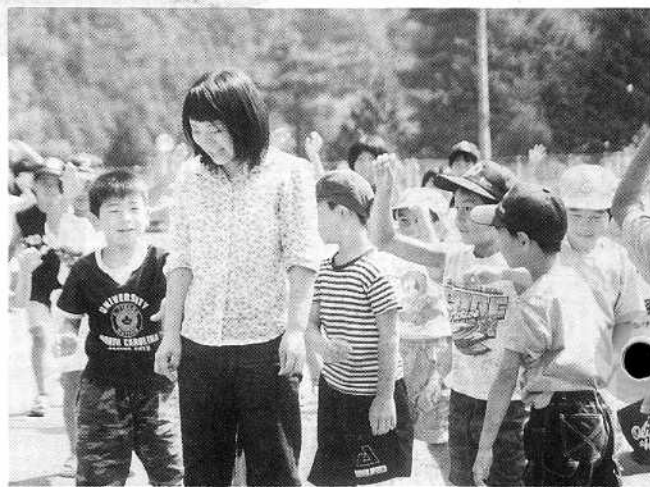




飛べよボール！吹き飛ばせ暑さ！ みんなで遊ぼうふれあい大会

夏休みも残すところ10日ほどになった8月22日の土曜日、子供会ふれあい大会が東白川小学校で行われました。

高学年は校庭でキックベースボールを展開し、低学年は、ジュニアリーダーの皆さんとゲームやドッチボールをして、久しぶりに友達と楽しいひとときを過ごしました。



低学年研修で“だるまさんがころんだ”を楽しむ小学生

広報 ひがししらかわ

1998
平成10年

9

No.447

人口の動き

— 8月末住民登録人口から —

世帯数	899	世帯
人口	3,246	人
転入	4	人
転出	4	人
出生	2	人
死亡	1	人

先月と比較して1人増
昨年と同月と比較して
34人減

の輪

川村 開催



「サトちゃんの
ミニステージショー」▼



いよいよ夏まつり当日になりましたが、雲いきが怪しく天候が心配されます。
準備をするスタッフやそ

夏の最大のイベント「ふるさと夏まつり・ザ・五介」もすっかり定着し、皆さんの楽しみの一つになりました。
趣向を凝らしたまつりを紹介しましょう。

悪天候去り、本番良好！

三十余年ぶりの今回の花火大会は、皆さんの協力（くじ付きポケットティッシュ販売）で企画され、今か今かと出番を待っていました。

の関係者は人出を心配し、それ以上に皆さんが楽しみにしている今日の最大のイベント「花火」の打ち上げが出来るかどうかを心配しています。



▲アマチュアバンド「らせつ」の演奏

◀中学生
▼小学生 による 檜茶太鼓



式典には、県議会の新藤議員、可茂土地改良事業所の中村所長、可茂土木事務所の日置次長をはじめ、村内諸団体長など臨席し、中川原水辺公園のオープンを祝



まつりに先立って、中山間地域農村活性化総合整備事業として実施してきた、中川原水辺公園の竣工の式典を開催しました。

憩いの場オープン！
「ほっ！」とな出会い
ふるさと

公園内にあるステージでは、数々のイベントがスタートしました。
小学生、中学生による檜茶太鼓は、息の合ったばちさばきやかわいいハッピー姿が見どころで、それをビデオやカメラに納めようと奮闘する家族も汗だくでした。

◀わたし盆おどり大好きなの

▼久しぶりの再会に、ハイポーズ!!



「サトちゃんのミニステージ」は、イントロ曲当てクイズや、動物・くだものを細長い風船で作るショーなど二部に渡って見る事ができ子供たちは大喜び、アマチュアバンド「らせつ」の演奏は、十代を中心とした若者がステージ前に集まり、ロックの生演奏に耳を傾け盛り上がりを見せるなど、イベントの時間に合わせどんどん人が集まってきました。

「久しぶり」の出会いにあちこちから、歓声も聞こえます。何十年振りの再会をしている人や、今年中学校を卒業しそれぞれ巣立った友と近況を話す若者などで会場は小さな輪、大きな輪が出来、ふるさとで「ほっ！」と肩を撫で降ろしのんびりまつりを楽しんでいる人の輪でいっぱいです。

まつりの輪は、各集落から広がっています。集落、商店、青年有志などの人々がまつりを盛り上げ、人々の和を広めました。

村内の夏まつりのスタートは、七月三十一日に開催の越原神社夏まつりです。特設ステージで繰り広げられる歌などを、広場前に用意されたテーブルを囲んで見たりお盆の休日をゆっくりと地域のひとと親睦を深めた後、花火大会、もち投げと楽しい一夜を過ごしました。この夜お泊り保育をしている越原保育園年長組の皆さんが会場に来て、まつりを楽しむ一幕もありました。

この日は、親田伝承の広場でまつりがあり、村内夏まつりのムードを一気に高めました。



▲東白川
ねぶたも出現し
まつりを飾る



◀宴たけなわの越原
神社境内



▼花火を楽しむ人々



「ねぶた」が出現した鮎ヶ瀬公園納涼夏まつりは、八月一日に行われ涼を求める人々にぎわいました。

今回、出現した「東白川のねぶた」は全部で四台あり、作者の安江政敏さん(平)の手によって絹地に勇壮な武将の絵が描かれています。

まつりのスタッフは「このねぶたが毎年皆さんの協力によって一台ずつ増え、やがては村の名物となっていけば嬉しい」と話していました。

鮎ヶ瀬公園納涼まつりのもう一つの見どころは、平成橋下の白川に涼しげにライトアップされた噴水もあがり、まつりに集まった人々の目を楽しませていました。

村内三箇所でもまつりが展開されたこの日は、「夏」のまつりを印象づけたことでしょう。



今年十周年を迎えた西洞・加舎尾・中谷・大口合同の夏まつりは、二日に開催。そもそも合同で夏まつりを始めたきっかけは、村の綱引き大会に三集落合同(西洞・加舎尾・史倉でチームを作り参加したこと)から意気投合し、話がまとまりました。

秋田のなまはげが登場した年、チームレスリングを行った年：十年間には楽しい思い出が詰まっています。今年は、子供たちの「〇×クイズ」をはじめ花火や記念大会を祝い、檜茶太鼓の演奏が披露されました。なんとと言っても魅力は、会場の食べ物や飲み物がすべて無料なこと、小・中学生をはじめたくさんの人でにぎわいます。焼き手にまわったお父さんは、焼きそば、焼き肉に次々とくる客の対応に追われ汗だくです。

うなぎを焼く職人？も登場、串に刺されたうなぎは旨そうに焼かれ、会場はもう食欲をそそる匂いいっぱいでした。おなかもふくれた



▲「その答えは、ノー」
子供たちの〇×クイズ



▲焼きそば、焼肉と大忙しのお父さん。
うなぎの蒲焼もいいにおい！



頃、突然の雨に見舞われましたが小降りになったのを見計らって花火の打ち上げがあり、西洞の山間に花火の大きな音が響き渡りました。

十周年を迎えた集落の夏まつり、背中にはおぼれて来た赤ちゃんが大きくなくても来られるよう続けることが、皆さんの願いでもあるようです。

知

の



▲ピカチュウとクイズを
しましょう

五加の夏まつりは、今子供たちに話題のピカチュウの登場で、会場に集まった子供たちは大喜びでした。サークル「かけっこ」の母親が中心となり、子供たちに人気もののピカチュウなどを作成し、今回夏まつりに登場！ゲームやクイズなどに一役かいました。

まつりに欠かせない露店では、地元高校生が協力し、輪投げや金魚すくいなどの店をきりもりしている姿がありました。普段はなかなか交流のない高校生や他の世代の人々が、こうしたまつりによって一つになり地域の原動力となっていくことは、うれしいことです。

夏祭りで世代交流▼



五加夏まつりで見逃せないのは、毎年ユニークなデザインで人気のスタッフTシャツ。これもまつりの特色になっています。

▼五葉会館で盆踊りをする人々



「もっと早くこないと終わってまうぜー」といって踊りの輪に誘ってくれたのは、五葉会館広場でまつりを楽しむ皆さん。

毎年みんなで団結して、集落の和を広げる夏まつりは、老いも若きもみな盆踊りの輪に入り踊る。話がでる、声が届くキョリに集落のみんながいて気取らず楽しめるのが魅力です。

踊りの輪の外では、今年九十八歳の田尻敏郎さんも座って参加し、皆さんの踊る姿を見て楽しんでいました。

夏まつりもその地域独特の楽しみ方があるようです。

今年の夏は行きそびれたまつりも、次回からは早めに予定し、各地域のイベントに参加してみよう、また違った楽しみ方が出来るかもしれませんね。



▲「カラオケのど自慢」で熱傷する
安江龍次さん

平成十年の夏まつりの最後を飾るのは、十五日の「平商工フェスタ」ポツポツと雨こそ降りましたが、役場駐車場に特設されたまつり会場は人、人で埋まっていました。

夕方からは、数々のイベントの開催です。まず「ビックコジャンケン大会」や「カン積み大会」がスタート。カン積みでは、自分の身長より高く積上げることが大変なチビッコたちでしたが、観客が見守る中、果敢にチャレンジし、見事優勝したのは神土保育園の古田友大くん（上親田）でした。

皆さんが待ちかねる「ラッキーカード」や「ビンゴ」の抽選会では、豪華賞品が当たるたび会場は歓声の渦で沸き上がりました。



〈カン積み大会〉

「カンカンさん
たおれないでネ」
との、お願いは...



▲「わあー当っちゃった」
ラッキーくじ商店街賞

十四人が参加。結果は、皆さんの多数の支持を受け「臉の母」を旅鳥スタイルで熱唱した村雲芳樹さん（中通）が人気ナンバーワンとなり大会を締めくくりました。



◀役場駐車場は
人でいっぱい

集落

元気村の『出来事情報』



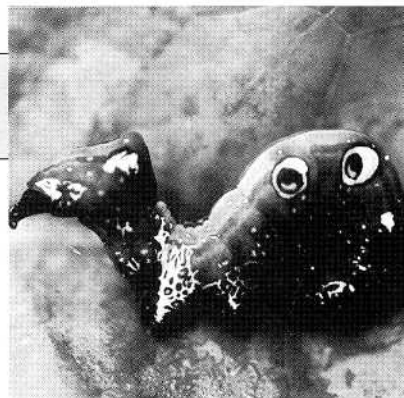
農地に関するご相談は役場農業委員会事務局まで

農地が農地として正しく使われているかを管理することは農業委員の大切な活動の一つです。調査は朝から昼過ぎまでの日程で、道路沿いの農地が中心となりましたが、特に山ぎわの農地などは山に近い状態となっているなど耕地放棄地がかなり見られました。

パトロールを終えた委員の皆さんは「今後深刻化する高齢化も考えて、ほ場整備を行ったような優良な農地をいかにして守っていくかが大きな課題」と話してくれました。

農業委員会では全村を対象に「農地パトロール」を行いました。八月は全国一斉の農地パトロール推進の月。今回は特に「無断転用、昨年転用許可が出た農地の確認、耕作放棄地の確認」の三つを重点に実施しました。

田や畑などの農地は自分の所有地であっても無断で農地以外の目的で使用することはできません。去る八月二十九日、



怪獣出現！その実は……なに？

調査 有料農地を 活用かすために

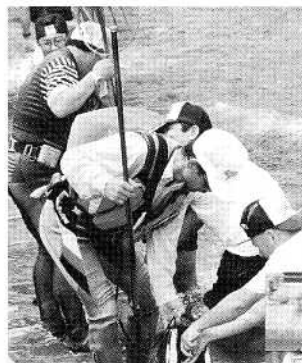
田や畑などの農地は自分の所有地であっても無断で農地以外の目的で使用することはできません。去る八月二十九日、



ただ一人の女性参加者
浜田雅子さん(名古屋市)

遠くは奈良県からも参加のあった鮎釣の大会、年々村外にも広く知られるようになってきました。

八十二人の皆さんが参加し、腕を競いました。朝七時から三時間行われ上位二十名を選出した予選は、時折強く降る雨も関係なく十七匹を釣るすべし腕も登場。決勝ラウンドは、昨年の入賞者のシード選手三人を含め、十一時から二時間を対戦した結果、九匹釣った川辺町の古田さんに優勝の凱歌があげられました。



恒例となった「ヒガシシラカワズカップ鮎98」が八月二日中川原水辺公園付近の白川で開催され、村内外から

釣業 鮎釣名人集合 ヒガシシラカワズ・カップ

◀決勝ラウンドヘスタート！

▼鮎釣大会で入賞した皆さん



教室 親子で手作り この夏の宝物

◀まっすぐ切れるかな？

▼手さばきもなかなかのチビッコたち



道具を使う手さばきを見てください。このチビッコのcockさんとは大工さんとは八月八日に東白川中学校で開催された親子料理、木工教室に参加した皆さん。今年度教室開放促進事業の一環として企画され、調理室を開放しての料理教室では十一組、二十四人の親子が、三色おにぎりや豚肉と野菜のカレーサラダなど四種類のメニューを作り、お昼に出来立ての味を満喫しました。

一方、木・金工室を開放しての木工教室では七組、十五人の親子が本職の大工さんから手ほどきを受け、鋸、金槌を片手に奮闘し腰掛けや鉛筆たてなどを午後には渡り作成しました。親子の共同作業で出来上がった料理と作品はこの夏の大きな宝物になったことでしょう。



話題集まれ!

熱戦

雨雲を吹き飛ばせ 夏季スポーツ大会

八月三十日から九月月上旬にかけて、夏期スポーツ大会が開催されました。開会当日はグラウンドゴルフ、ソフトテニスに出場する選手の皆さんが総合グラウンドに集合し、熱戦を繰り広げました。

グラウンドゴルフでは、ホールインワンを連発する選手もあり、日頃の練習の成果を見せていました。ペアによるA・Bのリーグ戦で勝者を決めたソフトテニスは、

一点を争うシーソーゲームもあり、真剣そのものでした。

夏の終りにボールを追いかけた大会の結果は次のとおりです。
(敬称略)

【グラウンドゴルフ男子の部】

①田口敏②今井好美③有賀政晴

【女子の部】①

安江峰子②安江

忠枝③安江トシ

子【ソフトテニ

ス】①古田季彦

安江あやか②渡

辺洋久、安江守

平③渡辺温子、

安江公平

グラウンドゴルフとソフトテニス部で入賞した皆さん

第98回 夏季スポーツ大会

レクぎふ'98 協賛事業



交流

ふるさと東白川村で 交流の輪広がる

お盆の里帰りを利用して、八月十四日もれびの里「味彩」で、村人会の皆さんと村の人との親睦を深める「里帰り交流会」が行われました。

参加者は、合わせて六十一人。

「味彩」のディナーバイキングを囲んで、懐かしい話に華を咲かせたりビンゴ大会を楽しむ皆さん。その中にはパン作りを体験した家族もあり、こもれびの里での一日を堪能されたようです。

参加者の皆さんは、第二の会場を「ふるさと夏まつり」の開催する中川原水辺公園に移し、

ふるさとでの短い夏を過ごしました。

味彩の前で記念撮影▶



▼交流のひとつ



勇壮

こもれびの里に 太鼓の音なりひびく



▲檜茶太鼓の発表



◀合同演奏のようす

村内にも小学生や中学生の愛好家が増えた太鼓ですが、八月三十日に開催された第八回飛騨川水域太鼓まつりには、可児市・関市・川辺町をはじめ近隣町村からの太鼓演奏者の皆さんで、はなのき会館はいっぱいになりました。

太鼓の演奏は、少年の部を三組含む演奏が全十曲発表され、普段の練習で磨き抜かれたばちさばきや大小の太鼓が醸し出す音色で、会場を訪れた人々を魅了していました。

中でも合同演奏として発表された「ロックガーデン」は、四十余人の太鼓の大演奏となり、こもれびの里一帯は、遠くからでも聞こえるほど太鼓の音が鳴り響きました。

なごやか村の『人情報』

お便り

ふるさと東白川村でのひととき

岐阜村人会はなのき会
竹内典子



自宅でくつろぐ竹内さん（下親田出身）

交流会でいただいたバイキングは、季節の野菜が多く使われとてもおいしかったです。中でも朴葉もちが、亡くなった母がよく作ってくれたので懐かしかったです。村の皆様のお陰で楽しいひとときを過ごせました。本当に有難うございました。

八月十四日に、味彩で行われました「里帰り交流会」に、私と娘、妹と姪二人の五人で参加させていただきました。交流会の前に、パン作り体験をしました。もっとたくさんの方の参加があるかと思っ出掛けたのですが私達五人だけで残念でした。暑い日でしたので粉をこねるのは、ちょっと大変な思いをしました。焼きたてのパンは、お茶の風味がとても良くおいしかったです。わがままな私達です。インストラクターの方にはご迷惑をおかけしたと思います。娘達も楽しかったです。



何を見ているのかな。
まつりで見かけた子

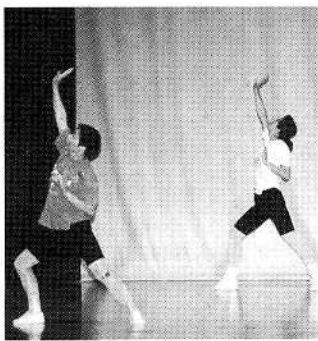
わが家のスター



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が……



あゆみ
▲ 今井亜由美ちゃん
(明義さん・由美子さん
＝陰地)



ポーズもステキなクラブ員

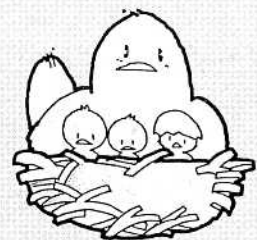
ビートのきいた曲に乗り体を動かしているのは、リズム体操の皆さんです。始めは、三体操から始まったこのクラブ。現在会員は十五人、その中には、約十・二十年と続けている人があり、話を聞くと「肩こりや腰痛もなくとても調子が良い」とか「日中は冷房のきいた部屋

仲間をたずねて



リズム体操クラブの皆さんです

にいるのでこうして汗を流すといい気持ち」とかいいた事なくめです。それに、笑いながら忘年会だけは全員集合だと教えてくれる人もいて、明るいムードで和気あいあいです。医者いらずの効果もあるこのクラブは、毎週月曜日夜七時三十分からはななき会館か役場別館で練習中。医療費を使うか、病気に負けない体をリズム体操で作るかあなたはどっちにします？



みんな仲間だ！

消息

7月1日～7月31日

(敬称略)

●誕生おめでとうございます

(平) 大坪 慶次^{かいと} 海翔^{かいと}
千寿^{ちず}
(陰地) 松岡 正道^{ひでなお} 秀尚^{ひでなお}
みさえ

●おくやみ申し上げます

安江 房夫 81歳(黒淵)

職場から

(有) 新田建設

このほど、役場の前の南無阿弥陀仏碑の傾を直す補修工事が戦後六十三年振りに行われ、今回その仕事を担当した新田建設を訪ねました。

新田さんはこの仕事について「歴史のあるものを扱うので大変気をつかったが、これからは歴史を重ねるものなのでいい思い出になるだろう」と振り返られます。「今の時期はどことも不景気で仕事がないが、仕事は村の全体にコンスタントにあるのが一番だと思う…今だからこそ、みんなで助け合っていきたい。とにかく元気がなければだめ、みんな元気を出して！」と今の時代を乗り切る願いも話す新田さんでした。

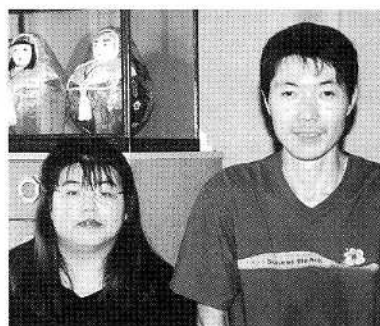


▲新田建設の事務所

▶工事をすすめる新田建設の皆さん

今回は、五月に村にUターンされた五加宮代の安江全生さん、理香さんご夫婦を訪ねました。

全生さん、理香さんは結婚して五年目以前職場で知り合い、五年の交際を経て結婚されました。勤め先を変わられたご主人の関係と新婚時代は、お隣の白川町に新居を構えられましたが、今回Uターンされました。



安江全生さん・理香さん夫婦

「ケンカはよくするけれど、すぐ仲直りします」とまだまだ甘いお二人は休日によくジョッピンなど楽しんでみえます。

当面のお二人共通の願いは「子供に恵まれること」だそうです。その願いも叶うのではないのでしょうか。

最近では、地元のソフトボールのメンバーに入るなど活躍中のご主人は「消防にも仲間入りし、住民としてがんばりますので村の皆さんよろしくおねがいします」と、村民にメッセージです。

宮代のヤングカップルにあたたかい声援を！

ホットアングル



「夏休みに、窓から見た工事現場…よし!! 高校の進路は、土木科にしよう」と自分の進路決定のいきさつを話す田口大介さん。

東白川中学校で八月八日に

卒業生と語る会が開かれました。今回は卒業生五人が、それぞれ進んできた進路について話をしてくれました。

現役の高校生からは、とにかく遊ぶ時間はなくて、勉強を…という話を聞き三年生は、ため息つくシーンも。高等看護学校へ通う村雲さんからは「一つの目標に進む道にも色々な方法があるので、よく考える事が大切」とアドバイスしてくれました。

あと、半年後に迫った進路のハードルを、みんなが乗り越えていきましょう。

知ってほしい『生活情報』

社協から

本年度も十月一日から年末までの三ヶ月間「みんな一緒に生きてゆく」をスローガンに、赤い羽根共同募金運動を展開いたします。

募金方法は、例年通り組長さんを通じての封筒募金と募金箱（役場・保健センター窓口等へ設置）にて行います。
皆様からの温かい善意をお待ちしております。



9月頃咲く 土アケビの花
(神戸 石神トミエさん提供)

課題を追う

安全なゴミ処理が 来年からスタート

Ⅱ 処理費の負担増にも理解をⅡ

今回は「一部事務組合」と言う言葉の説明から始めましょう。

市町村は、基本的には住民のために必要な事務・事業を、自分の市町村の範囲で行っています。

しかし、ゴミやし尿などを市町村単位で処理しようとするれば、その施設費や運営費が莫大になり、東白川村のような小さな村では不可能です。

このような場合、周辺の市町村が協同で処理場を作り運営すれば、割安で完全な処理がし易くなります。

このような市町村の協同組織が地方自治法で定められた「一部事務組合」です。

さて現在、可児市のはずれに建設中のゴミ処理施設は「可児衛生施設利用組合」という一部事務組合が行っていますが、東白川村を含む可児加茂二市九か町村がこの組合の構成員となっています。

ゴミを焼けば灰が出来る……これは世の中の常識ですが、今はその灰に有害物質が含まれている時代です。灰を捨てることはおろか、それなりの対策をした処分場であっても埋め立てることも出来ない状態です。

来年から稼働する新しい処理施設『ささゆりクリーンパーク』はその灰をさらに高熱で溶かして、ガラス玉のように固めてしまうことができます。こうすれば有害物質も溶け出さず、埋め立てる量も少なくなります。

このようにいいことづくめだけなら結構ですが、問題は処理運営費が今までに比べて七割も高くなることです。

これらの費用は当然村の負担増になり、ひいては村民の負担となります。環境を犯さないゴミ処理をするためにはそのコストを住民が負担しなければならぬ時代なのです。



▼ 青菜のくずで気になる臭いをストップ▲

皆さんの家庭でも使うことが多いプラスチックの密閉容器ですが、長い間肉や魚を入れていたとその臭いがついてしまうという経験はありませんか。

こんな時陰干しをしたり、米の研ぎ汁につけるなど臭いを消す方法には色々ありますが、もう一つ青菜のくずを利用する簡単な方法があります。

大根菜、キャベツの外側の汚れた葉、しなびかけた青菜など料理には使えない部分があれば、これを粗く刻んで容器に入れふたをして半日から一日おくだけでたいの臭いがきれいに消えてしまいます。

いつもは捨ててしまう野菜のくずも最後までむだなく使えます。

▼ ナスの保存食▲

秋が深まるにつれ、食べものがどんどんおいしく豊富になります。身近なものではナスもその一つ。「秋ナスは嫁に食わすな」なんていうくらいです、おいに食べましょう。沢山取れた、余ったからといって捨てないで保存食にしてみましょう。一番簡単なのは、天日で乾かす方法です。

なるべくやわらかいナスを皮ごと薄く切って、戸外でよく干してください。二日間ほど天日に干すのがいいと思います。

必要なときには、一昼夜水につけてもどします。油いため、煮付け、漬物汁ものなどにつかえます。ナスがかたくならないうちに処理すること、もどす際に十分水につけるのがコツです。



行政の窓口

十月一日の「住宅・土地 統計調査」にご協力下さい

住宅・土地に関する大規模で最も基本的な統計調査。この調査は、暮らしやすい住宅、ゆとりある生活環境を実現するための住宅建設計画都市計画、環境整備計画など、国や自治体が国民の住生活に関する施策を進める上での重要な資料となります。

調査は、十月一日現在で、全国の約四百万の世帯を対象に行われます。調査対象となる地域は、東白川村では神土西洞と親田で九月二十三日からお宅へ知事が任命した調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力下さい。

調査内容は、法律により統計以外の目的に使用することは固く禁じられていますので、ご安心下さい。

詳しくは、各市町村統計主管課（東白川村役場総務課企画財政係）又は、県庁統計調査課 ☎ 五八（二七二）一一一一内二三三四

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会】

現金10万円＝安江すみゑ（黒淵）
現金5万円＝伊藤照夫（千葉県）
現金3万円＝松岡ヒサミ（大明神）
現金2万円＝瀬瀬さかゑ（柏本）
現金41,100円＝平商栄会
現金63,848円＝匿名
清拭用布＝安江すみゑ（黒淵）
タオル＝長尾知恵子（平）・長寿会

【社会福祉施設整備指定】

現金10万円＝樋口俊明（付知町）
現金5万円＝上杉薫（大明神）
現金10万円＝坪内流坪内会
現金41,601円
＝坪内流坪内会チャリティー募金
【五加保育園】
スイカ＝今井眞澄（大沢）

健康の一步は、まず歩くこと

好きなスポーツで気のあった仲間と気持ちよい汗を流す…こんなことが毎日できれば、最高ですね。それが無理でも、ちょっと視点を変えれば、毎日の暮らしの中に運動を取り入れることは、簡単にできます。

まずは、「歩くこと」から始めてみましょう。「早歩き」は誰でも簡単にできて、体に余計な負担をかけない、とても健康にいい運動です。

10分歩くと約1,000歩になります。これを目安に、1日1万歩、時間にして100分をできるだけ毎日歩くようにしましょう。まずは、普段あるいている量にもう少しプラスするつもりで、次のようなことをしてみませんか。

- ★歩数計をつける。
- ★車を使わないように心がけ、歩くことに心がける。
- ★毎日の生活の中で、無理なく歩ける時間をみつける。

さあ！今日から始めましょう。

保健婦だより

東白川村指定給水装置工事業者が新たに 指定認定されました(平成十年六月～七月認定)

認定番号	商号	代表者氏名	事業所所在地
東環認第五号	御高瀬鐵工	高瀬 隆	下呂町森八六三
東環認第六号	御富士屋商店	今井 英美	白川町河岐七三
東環認第七号	御松浦設備	松浦 茂美	大山市大字上野字染三
東環認第八号	御加地工務店	加地 宣一	付知町六番

簡易水道を利用される家庭等の給水工事は、村の指定給水装置工事業者でなければ給水工事が行えません。条例により手続きが必要となりますので、工事を予定される方は、一度役場環境課（有線二一四五）迄お問い合わせ下さい。

蜂とりによる火災防止について

山火事は、発見が遅れることが多く、また、現場周辺に消防水利がないこと等、消火活動が困難で火災が拡大する要因となっています。一人ひとりの注意で防ぎましょう。

◎蜂とり花火（煙幕）の取り扱いについて
一、ペットボトルに水を入れて持参し、周囲の落葉等燃え易いものは取り除いてから使用する
二、花火に火を付けたら完全に煙になるまで安全な所で扱い、使用後は水をかけ持ち帰る。
三、ペットボトルの水を周囲にかけ、かけ終わってもその場を離れず残り火が無いか確認する
四、急斜面での使用は、下方に転がり易いのでそのまま放置しない。

◎タバコについて
一、吸殻入れを持参し、歩行しながらの喫煙や投げ捨てはせず、完全に消して持ち帰る。

輝く田舎の『文化情報』



花で迎える玄関（神土平）

旬の話

しゅん

みだれ髪

この広報文芸欄の、短歌や俳句の豊かな感性には敬服させられますが、きらりと光る感性の一冊を見つけました。一昔前、俵万智という女性の「サラダ記念日」という歌集が話題になりましたが、同じ作者がこのほど「みだれ髪」の現代版訳を出版しました。

「みだれ髪」はごんじ与謝野晶子の名作。「やわ肌の熱き血潮にふれも見てさびしからずや道を説く君」はあまりにも有名ですが、俵さんはそれを「燃える肌を抱くこともなく人生を語り続けて寂しくないの」と訳しました。

源治物語などの古典ではなく、それに比べればそんなに昔のものでない「みだれ髪」を、現代語に訳そうという感性もすばらしいが、彼女によって新しい血潮を得た歌は、まさに「今」に生きる「歌ことば」です。

「その子二十歳にながるる黒髪の参りの春のうつくしさかな」 晶子
「二十とはロングヘアーをながびかせて畏れを知らぬ春のピーナス」 万智

私の作品

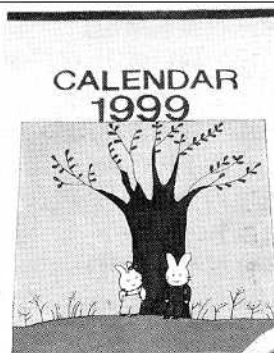
東白川小学校5年生
安江誠さん（柏本）
▼工作「アルミカンのイスとテーブル」



高齢者生きがい事業
▼陶芸「小鉢」



陶芸 小鉢



東白川中学校一年生
安江裕美さん（大明神）
▼レタリング「カレンダー」



夏休みの宝もの「あさがおのかんざつ」
村雲広規さん（西洞）
東白川小学校一年生



東白川小学校5年生
安江銀次さん（日向）
▼ポスター「鮎を大切に」



模写「もののけ姫」
桂川亜希さん（日向）
東白川中学校一年生



高齢者生きがい事業
▼陶芸「小鉢」



大明神
渡辺 タケノ

心のオアシス

東白川村百科

彰徳の碑

大正12年9月1日、関東地方に突如大地震が襲いました。死者不明14万人、家屋消失40万戸。我が国の歴史に残るこの日は、のちに「防災の日」に指定されました。この時、神土平出身の田口きりさんは、時の警視庁吉原病院の看護婦として勤務していましたが、地震によって引き起こされた大火災は、東京中を火の海と化し、不夜城と謳われた吉原遊郭も紅蓮の巷となりました。

当時病院には235名の入院患者がいましたが、彼女は同僚と協力し、死力を尽くしてこれを全部避難させ、さらに我が身の危難を顧みず、付近の負傷者の看護まで奔走していましたが、旋風に煽られた炎に周囲を包まれ吉原公園内瓢箪池にたどよう数百の屍とともに発見されたのです。

今から75年前、当時22歳の若き白衣の天使の殉職は、郷土の人達に衝撃を与え、その功績を永遠に伝えるべく、彼女の生家近くに「彰徳碑」を建立しました。その後道路改良により、現在の位置、村民センター前の四つ割石碑の隣に移されたのです。

本

「アボジ」 キム・ジョンヒョン 著

仕事と酒でいつも夜遅い父親に、末期ガンの宣告がされる。家族に打ち明けることもできず、自棄の酒で死期を早めるばかり。妻と娘の視線はますます冷やかになって…。ひとりの父親の切ないまでの家族への愛は、いつも一方通行。韓国のベストセラー小説です。

アボジ

「愛の絵手紙ブック」 小池邦夫 著

絵手紙は、ヘタでいい、ヘタがいい。自分が見て感じたことを、見たまま、感じたままに描く。ヘタだからこそ、素顔が表現できる。ヘタでも自分の描き方を続けていけば、借り物でない味がでる。ひとこと添えて、感動を絵手紙で相手に伝えることができます。



短歌

腰痛を忘れむと今日は東へと散歩のコース変えて歩めり

安江 守平

果てしなき若葉の絶景眼下にしゴンドラでゆく御在所の空

田口 かずみ

日に一度菊の挿芽をのぞき見る吾確かなる老後生きおり

安江 とくよ

紫陽花の色それぞれに花咲けど雨に打たれる藍がよく似合ふ

三戸 きり

息子の名を呼んで笑わる振り向けば父に勝れる孫の佇む

安江 香

二人目の子の生るるも知らずして征きし兄の今日は命日

安江 澄

雑草に咲く可憐なる花あれば引く手止めて大事に残す

荻田 清美

水溜り少し残れる畑に出て雨の合間に花苗植う

安江 節子(平)

蝦蟇蛙もテリトリーなど持つなむか昨日の場所にのそりと構え

今井 かな

山畑に草焼きし煙身に染みて気兼ねして佇つ健診の列

安江 嘉久一

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。偶数月の20日までに越原安江嘉久一宛に出して下さい。

昨年の鈴虫の砂のぞき見るにあらたな命二に育てり

早瀬 久子

侵し難き思いに白きささゆりを手折れり山の草踏み分けて

小林 道子

天然の雨水のみを養いに陰しき岩場に咲けるつつじは

今井 米子

入院の一ヶ月余り闘病に人の心のさまざまを識る

安江 龍玉

梅雨半ばもぎし初ものの胡瓜一本二十種の緑清しき

伊藤 美枝

梅雨晴れの散歩に急にしぐれ来て難儀せりけり去年の想出

伊藤 重雄

おし
らせ

連絡
募集
行事

再就職希望登録者 支援事業開始

(財)二一世紀職業財団は、妊娠、出産、育児または介護のために退職したけれど、将来もう一度就職をしたいという方の登録を行います。支援事業は平成十年十月一日スタートします登録された方には再就職の準備に役立つ「情報誌」の送付、再就職の準備についての「個別相談」教育訓練受講費の「割引」などの支援事業を行っています。登録は無料です。

詳しくは／(財)二一世紀職業財団岐阜事務所 ☎〇五八二四八二三六九二

雇用対策！

総合経済対策がまとめられ、『緊急雇用開発プログラム』が策定されました。※雇用の維持、安定、雇

世界イベント村ぎふ 秋まつり'98の開催

の創出拡大等に取り組む事業主を応援します。(いずれも平成十一年三月三十一日までに採用された労働者が対象) ○特定求職者雇用開発助成金制度の拡大 高齢者、障害者等の就職が特に困難な人々をハローワークの紹介により継続して雇用する労働者として雇い入れた事業主に対して、雇入れ賃金の一部を助成するものです。①対象労働者の年齢要件の緩和 五十五歳以上 四十五歳以上に緩和 ②助成率採用後 1 年間賃金(賞与等は除く)の一 四〇雇用調整助成金制度の拡大 労働大臣が指定した業種の事業主が、景気の変動産業構造の変化等に伴い、事業の縮小、休業、出向等を行った場合に休業手当で賃金又は出向者に係る賃金負担額の一部を助成するものです。①助成率の引き上げ 休業及出向二 三 三 四 教育訓練二 三 四 五 ※その他にも助成制度が拡大されました。詳しくは／ハローワーク美濃加茂 ☎〇五七四二二五二二一七八へお電話下さい。

期間／平成十年十月三日 九日 会場／岐阜メモリアルセンター・長良川国際会議場をはじめその周辺地域 イベント 内容／元氣自慢コンテスト、ふれあい市、三屋裕子氏のスポーツ教室 フリーマーケット、ちばてつやマンガの集大成や水野新司氏を囲んでマンガトークショーほか 詳しくは／岐阜メモリアルセンター内 ☎〇五八二二三三三八八二二

無料法律相談所開設と裁判傍聴・裁判所の見学案内

毎年十月一日から七日までは「法の日」週間です。裁判所の役割を理解していただくために、裁判の傍聴や裁判の傍聴や裁判所の見学をしていただければと考えております。

一、無料法律相談所開設日時／十月七日(水) 午前 十時 午後三時まで 場所／岐阜市正木一五九九マールサ 21 四階 マールサホール 詳しくは／岐阜地方裁判所庶務課

第10回村民運動会

スポーツの祭典！ 競技の健闘！ 今日の充実！ 明日への発展！

期 日：平成10年10月10日(土曜日) 体育の日
9:00~15:00 (閉会式終了まで)
雨天の場合 11日(日曜日)

会 場：東白川総合運動場



異常気象と経済不況など、となく沈滞ムードの昨今、何かと気分転換で元氣を出そうと村内各地で盆の多彩な行事が行われた。▼旧盆十四日の「ふるさと夏まつり」も新設の中川原水辺公園で盛大に開催、今年は三十七年ぶりに打上花火が実現、夏の夜空に美しい大輪の花、大音は山狭に轟き腹の底まで響く。▼ファイナレのスターマインの素晴らしい輝きは大きな感動を呼んだ。この一発の値段は三十万円とか、「久しぶりにストレスが吹き飛んだ」と喜ぶ人「素晴らしかった、来年も是非やっておくれや」とおばあさんの声、若者達の熱意が天に通じ、天気は最高、事故もなく終わる。▼この原動力は村の青年団体協議会の若い集団、資金集めから会場設営と後片付けまで、汗と工夫と努力のお陰で、ふるさとに歓声がこだまし元氣な村を演出した快挙に感謝。▼九月は敬老の月、満百歳を筆頭に九十歳代が三十八名の健康長寿村、今年の老人まつりも元氣な皆さんの笑顔が輝き、秋たけなわ。(K)



再生紙を使用しています